

## 2 GAPに取り組む際のポイント

### (1) 基本情報の整理

GAPでは、どのように農場を管理しているかを「見える化」します。その第一歩として、GAPで管理する範囲を明確化するため、基本情報を整理します。

基本情報とは、出荷する農林水産物、生産工程、ほ場・施設・設備・機械等を含みます。

### (2) 農場内の整理・整頓

農場内の整理・整頓・清掃・清潔は、GAPの基本的な取組です。

農場内のリスクが明確になり、作業や管理がし易くなります。

また、器具を探す時間が減ることによる効率アップや資材在庫の適正管理による経費削減につながります。

### (3) 日々の作業の記録

農場を管理するために必要な記録を整理しましょう。

整理した項目について、記録を作成・保存することで、様々なメリットが得られます。記録の作成に写真や動画を活用することも有効です。

### (4) リスク管理

リスク管理は、起こりうる問題や事故を洗い出し、それぞれの発生可能性や発生した場合の重大性を評価し、必要に応じて対策を立てる取組です。リスク管理の考え方は、GAPに取り組むにあたってとても重要なものです。

食品安全・環境保全・労働安全等の各分野でリスク管理を行います。具体的には、下記の手順で進めます。



(5) 農場ルール決定

GAPの取組事項を実践し、農場運営の方針を実現するため、経営者を含む従業員全員が従うべき農場のルールを定めます。決定したルールは、従業員全員に周知し、ルールに基づく農場経営を行います。

農場運営の状況を定期的に確認・検証し、必要に応じ、ルールや農場運営の方針、組織体制の見直しを行います。